

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【公表番号】特表2008-524806(P2008-524806A)

【公表日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-027

【出願番号】特願2007-546719(P2007-546719)

【国際特許分類】

H 01 B	7/08	(2006.01)
H 01 B	7/295	(2006.01)
H 01 B	11/20	(2006.01)
H 01 B	13/00	(2006.01)
H 01 B	7/02	(2006.01)
C 08 L	71/08	(2006.01)
C 08 L	23/02	(2006.01)

【F I】

H 01 B	7/08	
H 01 B	7/34	B
H 01 B	11/20	
H 01 B	13/00	5 2 5 B
H 01 B	13/00	5 2 5 D
H 01 B	7/02	Z
C 08 L	71/08	
C 08 L	23/02	

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月10日(2008.11.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

並列隣接状態で配列された2以上の被覆線を含むと共に、隣接する被覆線間に1以上の実質的な界面接触領域を設けてなる多心ケーブルアセンブリであって、

被覆線の1以上が心線及び熱可塑性樹脂組成物からなる被覆を含み、

熱可塑性樹脂組成物が、

(i) ポリ(アリーレンエーテル)、

(ii) ポリオレフィン、及び

(iii) ポリマー相溶化剤

を含み、

被覆が心線をおおって配設されており、

各被覆線が隣接する被覆線に少なくとも部分的に接合されている、多心ケーブルアセンブリ。

【請求項2】

当該多心ケーブルアセンブリが3以上の被覆線を含むリボンケーブルである、請求項1記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項3】

ポリオレフィンが、ポリプロピレン、高密度ポリエチレン、及びポリプロピレンと高密度ポリエチレンの組合せからなる群から選択される、請求項1記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項4】

ポリマー相溶化剤が、制御分布コポリマーであるブロックを有するブロックコポリマーからなる、請求項1記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項5】

ポリマー相溶化剤が、第一のブロックコポリマーの総重量を基準にして50重量%以上のアリールアルキレン含有量を有する第一のブロックコポリマー、及び第二のコポリマーの総重量を基準にして50重量%以下のアリールアルキレン含有量を有する第二のブロックコポリマーからなる、請求項1記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項6】

ポリマー相溶化剤がジブロックコポリマー及びトリブロックコポリマーからなる、請求項1記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項7】

ポリマー相溶化剤がポリプロピレン・ポリスチレングラフトコポリマーからなる、請求項1記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項8】

熱可塑性樹脂組成物がさらに難燃剤を含む、請求項1記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項9】

熱可塑性樹脂組成物が、ポリオレフィン及びポリ(アリーレンエーテル)の合計重量を基準にしてポリ(アリーレンエーテル)の重量基準の量より少ない重量基準の量でポリオレフィンを含む、請求項1記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項10】

1以上の被覆線が同軸ケーブルである、請求項1記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項11】

2以上の被覆線が相異なる色を有する、請求項1記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項12】

1以上の心線が1種以上の導線、1種以上の導電性箔、1種以上の導電性インキ、又はこれらの組合せからなる、請求項1記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項13】

2以上の被覆線を並列隣接状態で配列して、隣接する被覆線間に1以上の実質的な界面接觸領域を設ける段階と、

熱接合、超音波溶接、溶剤接合、レーザー溶接、接着剤結合及び振動溶接の1以上を用いて2以上の被覆線を少なくとも部分的に接合する段階と

を含んでなる多心ケーブルアセンブリの製造方法であって、

被覆線の1以上が心線及び熱可塑性樹脂組成物からなる被覆を含み、

熱可塑性樹脂組成物が、

(i) ポリ(アリーレンエーテル)、

(ii) ポリオレフィン、及び

(iii) ポリマー相溶化剤

を含み、

被覆が心線をおおって配設されている、方法。

【請求項14】

第一の絶縁材シートと第二の絶縁材シートとの間に複数の心線を配置する段階と、

第一の絶縁材シートを第二の絶縁材シートに少なくとも部分的に接合する段階と、
を含んでなる方法であって、

第一及び第二の絶縁材シートはそれぞれ長さ及び幅を有すると共に、長さは幅より大きく、

複数の心線は第一及び第二の絶縁材シートの長さに沿って互いに平行に配列され、

第一及び第二の絶縁材シートの1以上が熱可塑性樹脂組成物からなり、
熱可塑性樹脂組成物が、

(i) ポリ(アリーレンエーテル)、

(i i) ポリオレフィン、及び

(i i i) ポリマー相溶化剤

を含む方法で製造される多心ケーブルアセンブリ。

【請求項15】

ポリオレフィンが連続相又は共連続相であり、ポリ(アリーレンエーテル)が分散相又は共連続相である、請求項14記載の多心ケーブルアセンブリ。